



ほけんだより

令和元年6月号
明照保育園



5月中の欠席状況は、乳児クラスで胃腸炎、発熱により欠席した子が多くみられました。またインフルエンザや結膜炎の報告もありました。手洗い、うがいを心掛けましょう。保育園でも玩具の消毒、殺菌等行っていきます。家庭でいつもと様子が違うなと感じたら、どんなことでも教えてください。園での様子を注意して見ていき、お知らせしていきます。

【内科健診がありました】

5/15(水)→はな組、ゆき組、そら組、あか組、5/22(水)→つき組、ほし組の内科健診がありました。今は大人も子どもも咳を伴う風邪、胃腸炎、インフルエンザも出ているそうです。特に、咳の風邪は長引くので注意が必要だそうです。

【歯科健診があります】

今年度の歯科健診は6/20(木)です。

当日の朝は、しっかり朝ごはんを食べ、きれいに歯をみがいて登園をお願いします。また、園医の先生に相談したいことがある場合は、事前に担任までお知らせ下さい。

★ 年長児になっても、毎日の仕上げみがきは大人がしっかりと！

毎年の歯科健診では、年中児頃から急に虫歯の数が増える傾向にあります。

“子どもが自主的に”という年齢でもありますが、歯磨きについては大人による

“仕上げみがき”が重要です。幼児期の虫歯は大人の責任だそうですよ。

★ 2才までは極力甘い物を控える。(おやつを選びましょう)

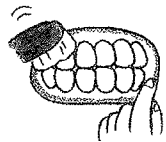
長い時間口の中に残るチョコや飴などは、歯のためには良くありません。

★ フッ素塗布の効果は4~5ヶ月です。年長児のフッ素洗口も始めています。市の健診や歯の健康フェスティバル等をうまく利用しましょう。遅くとも半年に一度フッ素塗布をすることで虫歯予防効果が持続できます。



☆仕上げみがきの仕方

- ① 大人の膝に子どもの頭を仰向けに乗せ、歯ブラシを鉛筆持ちで握る



- ② 歯と歯茎の間や歯の裏側、奥歯など、子どもが磨きにくいところをみがきましょう。上唇小帯(上唇と歯茎をつなぐ筋)に歯ブラシが当たると痛みを感じ、仕上げみがきを嫌がることもあるので当たらないようにみがいてあげましょう。

※歯の生え始めの頃はガーゼで軽くふいたり、口の大きさにあった歯ブラシで歯の裏表を軽くみがきましょう。

【プールあそびをするために】

子ども達の大好きなプールあそびを6月21日(金)から予定しています。楽しく安全に遊べるよう、ご家庭で以下のことをお願いします。

- ① 朝ごはんをしっかり食べる
- ② 十分な睡眠をとる
- ③ 足・指つめは短く切る
- ④ (耳鼻科などで)耳垢をそうじする
- ⑤ 体調をチェック

- とびひ ●目の充血 ●おなかをこわしている ●鼻水がでる
- 顔色が悪い、または、だるそうにしている ●感染症にかかっている
- 病気や大きなケガがある(発熱、目・耳・鼻の病気、伝染病、心臓が弱い、など)

以上のような症状が見られる時は、水あそびを見合わせた方がよい場合もありますので、プールに入ってもよいかを、かかりつけ医に相談し、かならず担任にお知らせください。



カウンセラーだより~赤ちゃんことばは世界共通?~

小さな子どもに話しかけると、知らず知らずのうちにいつもより高いトーンで、大げさに抑揚をつけて、ゆっくりと話しかけていることってありませんか? どうして私たちは小さな子どもにだけつつい特別な声かけをしてしまうのでしょうか? これってとても不思議ではないですか...? 実はこれは世界中で見られる現象で、とても大切な意味があることが明らかになっているのです!

このような赤ちゃんに対する特別な声かけのことを、マザリーズ(motherese)と言います。これは1966年、アメリカの文化人類学者・言語学者であったチャールズ・ファーガンが提唱したものです。ファーガンは、日本人が使う言葉(Japan + ese)がJapanese(日本語)であるように、お母さんが使う言葉(mother + ese)のことをマザリーズ(motherese)と名付け、マザリーズが国や種族の違いに関係なく、大人(特に女性)が乳幼児に語りかけるときに自然と出るある特徴的な語りかけ方であることを発見しました。「やや高め・ゆっくり・抑揚たっぷり」というのが全世界共通のマザリーズの大きな特徴です。

不思議なことに、乳児はマザリーズでの語りかけをより好み、またマザリーズを話すこと、聴くことで脳内言語野が活性化することが研究で明らかにされています。つまり、マザリーズのような明るく優しい語りかけにあふれた環境では、人はさらにお話しをしたくなる気持ちになるのです。これは乳児に限らず、ゆったりと抑揚をつけて返事をされると、気持ちよく返事したくなるご経験が誰にでもあるのではないのでしょうか。逆に、抑揚のない早口でしゃべられると、話をする意欲は激減してしまいますよね。マザリーズは乳児だけでなく、人と人がことばで繋がっていく柔らかな環境を創っていく重要な要素であるともいえるのです。

生まれてきた子どもにとって、初めて出会う声の文化とも言えるこのマザリーズ。何気ない言葉かけでも、ひとつひとつ大切にしていきたいですね(*^_^*) (中島卓裕)

【おわりに】

梅雨の時期は温度、湿度ともに高くなり、様々な影響が出てきます。健康に過ごせるように日頃から身の回りの清潔を心掛けましょう。部屋の中もこまめに掃除や換気をし、この時期を元気にのり切りましょう。